

広東省高校生訪問団受入事業 実施結果報告書



受入期間：平成31年1月23日（水） - 29日（火）

愛知県政策企画局国際課

報告書目次

1	広東省高校生訪問団一行名簿	1
2	全体行程	2
3	行程の詳細	
(1)	第1日目、第2日目（1月23日（水）、24日（木））	3
	来日	
	名古屋大学（大学説明、キャンパス見学）	
	トヨタ会館	
	とよたエコフルタウン	
	歓迎会	
(2)	第3日目（1月25日（金））	6
	常滑高校	
	ホームステイ	
(3)	第4日目（1月26日（土））	10
	ホームステイ	
(4)	第5日目（1月27日（日））	11
	ホームステイ	
	あいちスーパーイングリッシュハブスクール指定校生徒との英語ディスカッション・交流会	
(5)	第6日目（1月28日（月））	14
	森岡副知事表敬訪問	
	名古屋城	
	ピンポン外交記念モニュメント	
	フライドオブドリームズ	
(6)	第7日目（1月29日（火））	16
	帰国	
(参考)	参加者アンケート（まとめ）	17

1 広東省高校生訪問団一行名簿

◆高校生(12名)

氏名 (ふりがな)	学校名	学年	性別
李宇璨 (り・うさん) lǐ yǔ càn	佛山市順德華僑中学	三年	男
羅烙琪 (ら・らくき) luó lào qí	同 上	三年	女
楊思彤 (よう・しとう) yáng sī tóng	同 上	三年	女
尤惠熾 (ゆう・けいし) yóu huì chì	同 上	三年	女
陳盛鏗 (ちん・せいこう) chén shèng kēng	同 上	二年	男
陳宇哲 (ちん・うてつ) chén yǔ zhé	同 上	二年	男
杜炳昊 (と・へいこう) dù bǐng hào	同 上	二年	男
高倩琦 (こう・せいき) gāo qiàn qí	同 上	二年	女
平心悦 (へい・しんえつ) píng xīn yuè	同 上	二年	女
邵楚琪 (しょう・そき) shào chǔ qí	同 上	二年	女
馮雲禧 (ひょう・うんき) féng yún xǐ	同 上	一年	男
盧嘉梁 (ろ・かりょう) lú jiā liáng	同 上	一年	男

◆随行者(5名)

氏名 (ふりがな)	所属・役職	性別
吳劍平 (ご・けんぺい) wú jiàn píng	順德華僑中学校長	男
陳玉芳 (ちん・ぎょくほう) chén yù fāng	佛山市外事僑務局僑務工作科主任科員	女
馬潔萍 (ま・けつへい) mǎ jié píng	佛山市順德区外事僑務局外事科科长	女
董佳怡 (とう・かい) dǒng jiā yí	広東省外事弁公室国際交流処科員	女
潘錦江 (はん・きんこう) pān jǐn jiāng	順德華僑中学学生発展処副主任	男

2 全体日程

日付	時間	行程
1/23 (水)	20:50	中部国際空港着 (KE751 便) ＜宿泊：コンフォートホテル中部国際空港＞
1/24 (木)	10:00-12:00 14:00-15:00 15:30-16:30 18:00-19:00	名古屋大学訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・ G30 概要説明 ・ ノーベル賞展示室見学 ・ 博物館見学 トヨタ会館見学 とよたエコフルタウン見学 歓迎会 (矢場とん) 〔宿泊：アイリス愛知〕
1/25 (金)	10:00-18:00 18:00	常滑高校訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歓迎セレモニー ・ 学科体験 (サンドブラスト体験・ろくろ作業見学) ・ 昼食 (弁当) ・ 国際理解コース生徒との交流 (広東省高校生による武術・ダンス・合唱、 常滑高校生による剣道の実演・日本に関する英語クイズ) ・ 交流会 (鬼まんじゅう・お汁粉の調理) ホストファミリーと合流 〔宿泊：ホストファミリー宅〕
1/26 (土)	終日	ホームステイ 〔宿泊：ホストファミリー宅〕
1/27 (日)	午前 13:30 15:00-17:00 17:00-18:00	ホームステイ 常滑高校集合 あいちスーパーイングリッシュハブスクール指定校生徒との英語ディスカッション 交流会 〔宿泊：アイリス愛知〕
1/28 (月)	09:30-09:50 10:15-11:30 14:00-16:00 16:30-18:00	森岡副知事表敬訪問 名古屋城・ピンポン外交記念モニュメント見学 フライトオブドリームズ見学 ショッピング 〔宿泊：コンフォートホテル中部国際空港〕
1/29 (火)	07:15 09:30	ホテルチェックアウト 中部国際空港発 (KE752 便)

3 行程の詳細

【第1日目 1月23日(水)】

◇20:50 KE751便で中部国際空港着

◇22:00 コンフォートホテル中部国際空港チェックイン

【第2日目 1月24日(木)】

◇10:00~12:00 名古屋大学訪問

• 随員職員：植村主査、山本主事

• 使用言語：日本語、英語、中国語（通訳：三宅氏）

• 概要：10:15~10:45 G30 概要説明

※G30: Global 30 International Programs

11:00~11:15 ノーベル賞展示室見学

11:25~11:40 博物館見学

11:45~11:55 豊田講堂にて記念撮影

名古屋大学では、外国人留学生向け留学プログラムについて説明を受け、ノーベル賞展示室など高度な研究内容について見学しました。

高校生たちは、将来の留学も視野に入れて熱心に話を聞き、求められる英語や試験方法についても積極的に質問をしていました。

【G30 概要説明】



【ノーベル賞展示室】



名古屋大学見学を終えて記念撮影!

◆名古屋大学の感想（アンケートからの抜粋）

- 大学の学びの環境、研究の環境がとても良く、中国でもこういった場所があれば良いと思った。
- 名古屋大学は学風が良く、優秀な人材を輩出しているところで、憧れの場所です。

◇14:00~15:00 トヨタ会館見学

- 随行職員：植村主査、山本主事
- 使用言語：日本語、中国語（通訳：三宅氏）
- 概要：トヨタの環境・安全に関する最新技術や新型車を見学した。



◆トヨタ会館の感想（アンケートからの抜粋）

- トヨタと関連企業がどのように力を合わせて発展したのわかりました。

◇15:30~16:30 とよたエコフルタウン見学

- 随員職員：植村主査、山本主事
- 使用言語：日本語、中国語（通訳：三宅氏）
- 概要：暮らし、交通、産業など、各分野の最先端環境技術を通して、快適な低酸素社会が体験できる施設を見学し、次世代の環境技術を集約した様々な取組の紹介を受けた。

とよたエコフルタウンでは、燃料電池自動車や水素ステーションについて説明を受けた後、実際に環境に配慮した技術を使用したスマートハウスを見学しました。説明の間も活発に質問が出ており、関心の高さがうかがえました。

◆とよたエコフルタウンの感想（アンケートからの抜粋）

- 日本には高い科学技術があり、環境への高い意識を持っていることがわかりました。こうしたことは、全世界にとっての貢献活動になると感じました。
- とよたエコフルタウンには、中国にはないものがたくさんありました。また、将来中国が環境を守りながらどのように発展していけばよいかわかりました。

◇18:00~19:00 歓迎会

- 開催場所：矢場とん栄セントライズ店
- 県側出席者：近藤国際監、川村課長、浅田主幹、木俣補佐、植村主査
- 使用言語：日本語、中国語（通訳：三宅氏）
- 概要：近藤国際監あいさつ
呉剣平校長あいさつ
歓談



【第3日目 1月25日（金）】

◇10:00~18:00 常滑高校

- ・ 随員職員：木俣課長補佐、植村主査、丸山国際交流アドバイザー
- ・ 使用言語：日本語、英語、中国語（通訳：三宅氏）
- ・ 概要：10:00~ 歓迎セレモニー
11:00~12:50 学科体験（サンドブラスト・ろくろ体験）
12:50~13:25 昼食
13:25~15:15 国際理解コース生徒との交流
広東省高校生による武術・ダンス・合唱
常滑高校生による剣道の実演・日本に関する英語クイズ
15:45~18:00 交流会（鬼まんじゅう・お汁粉の調理・試食）

【歓迎セレモニー】



校長先生同士
で記念品交換

【サンドブラスト体験】



【ろくろ作業見学】

上手に
できました！



学科体験では、常滑高校ならではのセラミックアーツ科でサンドブラストを体験し、ろくろ作業を見学しました。はじめての体験に、生徒たちは説明を真剣に聞き、先生に教えていただきながら作業に一生懸命取り組んでいました。完成した作品に、生徒たちはとても嬉しそうでした。

【国際理解コース生徒との交流】



国際理解コースの生徒さんともコラボしました！

迫力ある剣道の実演をしてくれました。



みんなで記念撮影！

国際理解コースの生徒の皆さんとの交流では、広東省の高校生がこの日のために練習した武術・ダンス・合唱を披露しました。舞台上に常滑高校の生徒が登壇する一幕もあり、盛り上がりました。また、剣道部の皆さんが実演を披露してくれ、迫力ある姿に驚き、見入っていました。

さらに、国際理解コースの生徒の皆さんが、英語で日本に関するクイズを行い、広東省の高校生たちは夢中に取り組んでいました。その後のフリートークもとても盛り上がり、高校生同士の交流を深めることができました。

【交流会】



美味しくできました！

交流会では、鬼まんじゅうとお汁粉と一緒に調理しました。みんなで協力し、にぎやかに調理・試食をしました。



◆常滑高等学校の感想（アンケートからの抜粋）

- 常滑高校には多様なクラスがあり、学生の思考能力を養成できるだけでなく、学生の主体性の養成も行っています。常滑高校の学生はとても礼儀正しく、ルールを守り、先生方との距離も近く、学生の方々とすぐに打ち解けられました。
- 日本の学校の授業の方法は中国との違いが大きく、多様性に富んだ授業内容は、学ぶ価値があると感じました。日本の方々に親切にいただき、とても嬉しかったです。
- 私にとって、現地の高校生と交流する機会はとても貴重な経験でした。日本現地の学校の授業にも参加させていただき、日本の学生と共に学びました。工科の授業は、とても実践的で、実用的で、生活に活かせる部分が多くあると感じました。
- 常滑高校には中国の高校にはない授業がたくさんあります。例えば、茶道、陶芸、料理などです。日本の高校生の学生生活について知ることができ、好奇心を満たすことができ、とても有意義な経験でした。
- 常滑高校は、整備されていて、清潔で、とても秩序ある学校と感じました。寒かったですが、学校の方々が温かく迎えていただき、私の心もとても温まりました。とても丁寧に対応をしていただきました。
- 日本の高校には中国の高校とは異なる制度があり、陶芸や国学など、多くの専門や学科があります。その他、茶道や剣道、調理などの、身を修め性を養うような授業も多くあり、6種類の授業しかない中国との違いを感じました。
- 常滑高校の第一印象は、素朴で、無駄がなく、清潔感のある学校だと思いました。一步踏み入れると学びの場という荘厳な雰囲気があり、歩きながら話す声も自然と小さくなりました。簡素な装飾も、学びの場という独特の雰囲気がありました。実際には、まだ高い科学技術を備えた設備を見たことはありませんが、必要な設備はすべて揃っていて、焼き物であったり、コップ作りであったり、剣道など、授業のバラエティーも豊富で多彩でした。そして一つ一つのできあがった作品を見てとても驚きました。このような高校生活を送れることはとても羨ましいと思いました。
- 中国と日本の教育の方向性の違いを感じました。日本は基礎的な教育やその他の教育にも力を入れています。例えば、料理などです。

【第4、5日目 1月26日（土）、27日（日）】

◇常滑高校生徒宅でホームステイ

優しいホスト
ファミリーと



リトルワールド
で民族衣装体験

イオンモール
常滑にも行き
ました



お別れの日、常滑高校前で記念撮影

今年度は、常滑高校生徒の計11家庭にご協力いただき、1家庭1人でホームステイを行いました。リトルワールドで民族衣装体験をしたり、イオンモール常滑に連れて行ってってもらったり、温かいホストファミリーとの時間を満喫しました。お別れの時には涙ぐむ高校生やホストファミリーがいて、充実した時間を過ごしたことがう

◆ホームステイの感想（アンケートからの抜粋）

- 幸運にも、二つの家庭でのホームステイを体験することができました。両家庭共に温かく出迎えてくださり、とても行き届いた手配をいただきました。
- ホームステイは本当に印象的な経験となりました。私にとって人生初めてのホームステイで、初めて現地の方々と近い距離で交流させていただき、文化や生活習慣が私たちと違うこともわかりました。ホストファミリーの方々は、とても親切でおおらかな方でした。
- 西田君の家では、日本人の生活について理解でき、自らも共に生活をするを通し、中国と似ているところや異なるところがわかりました。西田君とお母さんと私は、とても素敵な2日間を過ごし、別れの時には泣いてしまいました。帰国後また彼らのことを思い出すと思います。
- ホームステイでは、家庭の温かさを感じました。紗奈の家族は、とても親切で、お土産も色々、プレゼントし合いました。2日間という短い時間でしたが、深い友情を築くことができました。そして今回このような機会を通し、日本の生活のマナーについても深く知ることができました。
- 1日半の体験を通し、日本の家庭生活について理解を深めることができました。生活の中にもマナーがあり、食事の前と後には、「いただきます」「ごちそうさま」と言うことや、ゴミを細かく分類しているところは、素晴らしいと感じました。家の中は、簡素でも清潔で整理整頓されていました。とても暖かく接していただき、家庭の温かさを感じました。着物体験もさせていただき、とても感動し、とても感謝しています。
- ホームステイ先では私をもてなしていただき、感動すると共に、素晴らしい家庭に出会え、とても光栄だと思いました。伝統文化についても教えていただき、日本家庭の日常生活を通し、日本をより深く理解できました。

【第5日目 1月27日（日）】

◇15:00～17:00 あいちスーパーイングリッシュハブスクール指定校生徒との英語ディスカッション

- 場 所：アイリス愛知（コスモス）
- 随 行 職 員：川村課長、浅田主幹、木俣課長補佐、植村主査、山本主事
- 使 用 言 語：英語
- 概 要：自己紹介
テーマ「元気の素」（自分自身が元気になる言葉等）についてディスカッション
発表



ディスカッション後の記念撮影

ハブスクール指定校生徒、広東省高校生混合で6グループに分かれ、各自の「元気の素」をテーマにディスカッションし、チームでまとめた意見を英語で発表しました。チームメイトの発言をしっかりと聞き、意見をまとめる作業ではサポートスタッフの助けを借りながらみんなで協力して課題に取り組んでいました。

◇17:00~18:00 交流会

- ・開催場所：アイリス愛知（コスモス）
- ・県側出席者：川村課長、浅田主幹、木俣課長補佐、植村主査、山本主事
- ・使用言語：日本語、英語、中国語
- ・主な内容：川村課長あいさつ
呉剣平校長あいさつ
会食・懇談

ディスカッションのすぐ後に行われた交流会では、高校生たちはすっかり打ち解けて会話を楽しんでいました。記念撮影をする姿も多くみられ、ディスカッションをした仲間との交流をより深めることができました。

◆県内高校生との英語ディスカッション・交流会の感想（アンケートからの抜粋）

- ディスカッションはとても盛り上がりました。グループは分業するのではなく、協同して同じ目標を達成することができました。
- 日本の高校生の英語のレベルは高く、自分の考えを表現する力も備わっていて、チーム意識の強さも実感しました。日本の高校生は、全く気後れすることなく、勇気と自信をもっていて、そうした姿勢は、私たちも学ぶべきだと思いました。
- 日本の学生の英語力は高く、彼らとの交流を楽しんで行うことができました。同年代の高校生と、このような意義のある交流ができ、とても嬉しかったです。
- 私は日本に来たことがあったので、日本人は英語の発音が苦手で、あまり標準的な発音ができない人が多いと思っていましたが、今回の交流を通し、日本の学生の発音はとても正確で、英語のレベルもとても高いことを実感しました。驚きましたが、たくさん交流をすることができました。
- もともと英語で話をするには苦手な方でしたが、日本の高校生との交流を通して、英語でのコミュニケーションというのは、リラックスして、楽しく行うことが大切ということがわかりました。また、グループ内で、メンバーそれぞれが大切にしているものについて理解することができました。
- ディスカッションに参加をした高校生は、話し好きな人が多く、始まったばかりの時は、初対面なので緊張していましたが、自己紹介が一巡したころには、もう打ち解けていました。私たちは、理想について、生活について、異なる国の制度や習慣について、さらには学校生活についてなど、たくさんのお話をしました。後半はそれぞれが力を発揮し、考えをまとめた絵を描きました。
- とても大きく美しい会場で、周りには異なる国の異なる学校の高校生が座り、最初はとても緊張しましたが、周りの方々が会話を盛り上げてくれ、少しずつ緊張がほぐれました。ディスカッションを通し、自分が足りないところに気づき、緊張して言葉が出ないこともあり、もっと英語能力を高める必要性を感じました。同時に、優秀な人は自分の考え方をきちんと持っていることを学び、そうなるには、多くの知識を身につける必要があると感じ、自分自身で機会をつくり、自分を鍛える必要性も実感しました。
- ディスカッションでは、最初は緊張して、なかなか話ができませんでしたが、その後は打ち解けて、楽しいディスカッションを行うことができました。グループ内で意見をまとめて、力を合わせて共にミッションを達成することを通し、交流と協力の重要性を実感し、とても有意義な経験となりました。

【第6日目 1月28日(月)】

◇9:30~9:50 森岡副知事表敬訪問

- 開催場所：本庁舎階 特別会議室
- 県側出席者：森岡副知事、横井局長、近藤国際監、川村課長、浅田主幹、木俣課長補佐、植村主査、大曾根主事、太田主事、山本主事、丸山国際交流アドバイザー
- 使用言語：日本語、中国語（通訳：大曾根主事）
- 主な内容：呉剣平校長あいさつ
高校生代表あいさつ
森岡副知事あいさつ



県庁前で記念撮影

広東省佛山市順德華僑中学校の呉校長先生から、「今回の訪問では、自分の目で日本の科学技術や教育などの進んだ経験をよく見る事ができた。機会があれば広東省、佛山市にもぜひいらしてください。」と発言があり、また高校生代表からは「愛知県に友好訪問できたことを心から感謝します。今後、広東省と愛知県の友好の懸け橋になりたい。」とのあいさつがありました。森岡副知事は、「広東省に戻ってからも、滞在中に感じたことや愛知の魅力を周りの人に伝えてください。」と発言し、広東省から掛軸やお揃いのマフラー等の記念品を頂きました。

◇10:15~11:30 名古屋城、ピンポン外交記念モニュメント見学

- ・ 随員職員：浅田主幹、木俣課長補佐
- ・ 使用言語：中国語（愛知善意ガイドネットワークボランティア）
- ・ 概要：ボランティアガイドから名古屋城の歴史や建築方法などの説明を聞きながら、本丸御殿や天守閣を見学した後、米中及び日中の国交正常化につながった「ピンポン外交」を記念したモニュメントを見学した。

【名古屋城】



【ピンポン外交記念モニュメント】



高校生たちは、豪華絢爛な本丸御殿や、勇壮な天守閣に圧倒されながら、ガイドの説明を熱心に聞いていました。中には歴史や建築に関わる難しい単語もありましたが、身振り手振りも交え、グループ内で補完し合いながら、一生懸命理解に努めていました。

◆名古屋城・ピンポン外交記念モニュメントの感想（アンケートからの抜粋）

- ・ 名古屋城では日本文化を体験でき、17世紀の日本を見たようでした。

◇14:00~16:00 フライトオブドリームズ見学

- ・ 随員職員：浅田主幹、木俣課長補佐
- ・ 使用言語：日本語、中国語（日中通訳：三宅氏）
- ・ 概要：空港内特別待合室で空港の概要説明を受けた後、フライトオブドリームズでボーイングの機体の展示、プロジェクションマッピング、光と音のアトラクション等を自由に見学した。

◆フライトオブドリームズの感想（アンケートからの抜粋）

- ・ ボーイング787の展示は面白く、光のショーがとても美しかったです。
- ・ ボーイング787の飛行機は、現代テクノロジーの進化を体現していると感じました。
- ・ ショーの光りの演出が印象的でした。
- ・ 卓越した理念があり、とても斬新と感じました。

【第7日目 1月29日（火）】

◇9：30 KE752便で中部国際空港発

- ・見送り：浅田主幹、木俣課長補佐

◆全体の感想（アンケートからの抜粋）

- ・今回の交流活動を通し、日本の都市の清潔で衛生的な生活を体験することができました。人々は皆さんとても礼儀正しいと感じました。最も意義があったことは、日本の学生と友好を深めることができたところだと思います。
- ・今回のプログラムは私にとってとても良い学びの機会をなりました。日本の文化を学び、日本人の方々に親切に交流していただきました。次回はまた機会があれば日本に来たいですし、愛知県にも来たいです。
- ・今回のプログラムを通して、見識を深めることができ、新しい日本の友達がたくさんできました。今回の機会を大切な思い出にしたいと考えています。今回のような活動が継続して行われ、日中友好関係が深まることを願っています。
- ・今回の交流を通し、得たものはたくさんあります。以前も何度か日本に来たことはありましたが、最も印象深い経験となりました。日本にはどのような文化があり、日本人はどのように生活しているのか、一般の旅行ではわからないことがあります。このような機会だからこそ、日本人の温かさを実感することができました。近い距離で共に生活をし、交流をすることができました。
- ・あっという間の6日間でした。1日目飛行機から降りたとき、これからの数日に対する期待が目の前に浮かんでいましたが、時間が過ぎるのは速く、この6日間で日本文化と中国文化がすこしずつ融合した感覚がありました。楽しいホームステイも経験し、異なる学校の文化も体験することができ、広い視野を持ち新しい知識を取り入れたいという気持ちが大きくなり、多角的に物事を考えられるようになりました。最後に6日間私たちを受入れ引率して下さった皆様に心から感謝申し上げます。
- ・5日間、少し疲れましたが、とても充実し、楽しく、幸せな経験でした。日本に来るときに、私は疑問に思っていたことがあります。それは中国と日本は同じアジア文化圏にあるのに、なぜ日本のほうが人気があるのか、中国とどこが違うのか、ということです。5日間を通して、少しずつわかってきました。中国の都市部と日本はそんなに違いがないかもしれませんが、地方に違いがあります。日本の地方は、清潔で整備されていて、地方の人たちもマナーがあり、文化があり教養があります。日本の人は賢く、食べ物を見ても理解できたのですが、物事にも行動にも、礼儀正しさや、繊細さ、真面目さがあります。日本や日本の人のことが大好きになりました。
- ・今回の交流を通して得たものは数え切れないほど多く、日本をより深く理解することができました。自動車産業に対する理解もでき、今回の交流プログラムはとても勉強になり、多方面で理解を深めることができました。

【参考】参加者アンケート(まとめ) ※対象人数：12人(【 】内は回答数)

1. 今回の友好交流に参加した理由は何ですか？

- (1) 国際交流に興味があったため。：【11】
- (2) 日本に興味があったため。：【11】
- (3) 保護者から聞き、先生から推薦があったため。：【2】
- (4) その他の理由：【1】
 - ・日本文化に興味があったため。

2. 今回の訪問プログラムの中で、最も印象に残っていることは何ですか？

a：名古屋大学

- ・大学の学びの環境、研究の環境がとても良く、中国でもこういった場所があれば良いと思った。
- ・名古屋大学は学風が良く、優秀な人材を輩出しているところで、憧れの場所です。

b：トヨタ会館

- ・トヨタと関連企業がどのように力を合わせて発展したのかわかりました。

c：とよたエコフルタウン

- ・日本には高い科学技術があり、環境への高い意識を持っていることがわかりました。こうしたことは、全世界にとっての貢献活動になると感じました。
- ・とよたエコフルタウンには、中国にはないものがたくさんありました。また、将来中国が環境を守りながらどのように発展していけばよいかわかりました。

d：常滑高校

- ・教育設備、教育システム等が整っており、中国との顕著な違いを感じました。
- ・日本の高校生活の豊富で多彩な様子を知ることができました。
- ・日本の高校の授業内容や授業方法を知ることができ、中国との違いがわかりました。
- ・日本の学校の雰囲気がわかりました。
- ・常滑高校の高校生との交流はとても印象的でした。
- ・普通の高校では経験できない授業を経験することができました。
- ・中国とは異なる教育モデルを体験できました。

e：ホームステイ

- ・日本の家族と密に接し、本当の日本の生活というものを感じ取ることができました。
- ・日本人の日常の生活を体験でき、より深く日本文化を理解することができました。
- ・日本のホストファミリーは、友好的でとても礼儀正しく、私の気持ちに寄り添ってくださいました。
- ・日本の生活や習慣を深く理解することができました。
- ・日本人の生活について理解できました。
- ・とても近い距離で共に生活をさせていただき、日本の伝統文化や生活スタイルについて学ぶことができました。
- ・日本人の日常の生活を体験し、ホームステイ先の方々と深い信頼関係を築くことができました。
- ・日本家庭の生活や日本の高校生の休みの日の過ごし方について理解できました。

- ・2日間で、日本の生活や人、文化について理解でき、深い友情を築くことができました。
- ・母国とはことなる家庭生活を体験できました。
- ・家庭における伝統文化・習慣の違いが印象的でした。
- ・ホストファミリーの方々は私をもてなしてくださり、日本家庭の日常の生活や伝統文化について理解できました。

f: 日本の高校生とのディスカッション

- ・日本の高校生の英語力について知ることができました。また相互学習の良い機会となりました。
- ・日本の高校生はきちんと自分の考えを持っていて、話をしているとても楽しかったです。
- ・社交能力や言語表現能力を養うことができると共に、自信を持つことができ、今後もっと英語能力を伸ばしたいという思いが強まりました。
- ・英語を使って相互交流を行ったことにより、英語の重要性を改めて実感しました。
- ・日本の学生と一緒に英語ディスカッションを行えたことは、大きな自信となりました。そして同時に交流を深める機会となりました。

g: 愛知県庁訪問（副知事表敬訪問）

- ・会議の様子を見学し、会議に対する新しい考え方や見解を持つことができました。

g: 名古屋城

- ・名古屋城では日本文化を体験でき、17世紀の日本を見たようでした。

i: フライトオブドリームズ

- ・ボーイング 787 の展示は面白く、光のショーがとても美しかったです。
- ・ボーイング 787 の飛行機は、現代テクノロジーの進化を体現していると感じました。
- ・ショーの光りの演出が印象的でした。
- ・卓越した理念があり、とても斬新と感じました。
- ・787 機を見て、日本の科学技術のレベルが世界の最前線にあると感じ、多くの知らなかった飛行機の秘密について知ることができました。

3. 以下交流プログラムの感想をご記入ください。

(1) 愛知県立常滑高校訪問

- ・しっかりと準備をして、みなさんが全力でパフォーマンスしてくださいました。常滑高校は環境も美しく、先生方もとても暖かく出迎えてくださいました。
- ・常滑高校の国際コースの学生は、とてもフレンドリーで、積極的で、学びの環境がとても良いと感じました。
- ・常滑高校には多様なクラスがあり、学生の思考力を養成できるだけでなく、学生の主体性の養成も行っています。常滑高校の学生はとても礼儀正しく、ルールを守り、先生方との距離も近く、学生の方々とすぐに打ち解けられました。
- ・日本の学校の授業の方法は中国との違いが大きく、多様性に富んだ授業内容は、学ぶ価値があると感じました。日本の方々に親切にいただき、とても嬉しかったです。
- ・日本の校舎にはとても風格があり、印象的でした。日本の授業の方法は中国とは異なります。日本の素晴らしい授業の理念と進め方について、私たちは学ぶべきだと感じました。日本の先生や学生たち

は、素養があると感じました。

- ・私にとって、現地の高校生と交流する機会はとても貴重な経験でした。日本現地の学校の授業にも参加させていただき、日本の学生と共に学びました。工科の授業は、とても実践的で、実用的で、生活に活かせる部分が多くあると感じました。
- ・常滑高校には中国の高校にはない授業がたくさんあります。例えば、茶道、陶芸、料理などです。日本の高校生の学生生活について知ることができ、好奇心を満たすことができ、とても有意義な経験でした。
- ・常滑高校は、整備されていて、清潔で、とても秩序ある学校と感じました。寒かったですが、学校の方々が温かく迎えていただき、私の心もとても温まりました。とても丁寧に対応をしていただきました。
- ・日本の高校には中国の高校とは異なる制度があり、陶芸や国学など、多くの専門や学科があります。その他、茶道や剣道、調理などの、身を修め性を養うような授業も多くあり、6種類の授業しかない中国との違いを感じました。
- ・常滑高校の第一印象は、素朴で、無駄がなく、清潔感のある学校だと思いました。一步踏み入れると学びの場という荘厳な雰囲気があり、歩きながら話す声も自然と小さくなりました。簡素な装飾も、学びの場という独特の雰囲気がありました。実際には、まだ高い科学技術を備えた設備を見たことはありませんが、必要な設備はすべて揃っていて、焼き物であったり、コップ作りであったり、剣道など、授業のバラエティーも豊富で多彩でした。そして一つ一つのできあがった作品を見てとても驚きました。このような高校生活を送れることはとても羨ましいと思いました。
- ・中国とは異なる高校生活が体験でき、とても素晴らしい経験になりました。日本の高校生と交流をして、感覚の違いを実感したり、とても大きな収穫がありました。中国と日本の高校生の教育には大きな違いがあると感じました。
- ・中国と日本の教育の方向性の違いを感じました。日本は基礎的な教育やその他の教育にも力を入れています。例えば、料理などです。

(2) 日本の高校生との英語ディスカッション

- ・ディスカッションはとても盛り上がりました。グループは分業するのではなく、協同して同じ目標を達成することができました。
- ・世界各国の学生が集まり、同じテーマで英語で行うディスカッションは、それぞれが個々の英語でのコミュニケーション能力や、自信、知識、能力を発揮して行いました。今回の英語ディスカッションを通し、国を跨いだ友人とより深く交流でき、より深くお互いの文化を理解することができました。
- ・日本の高校生の英語のレベルは高く、自分の考えを表現する力も備わっていて、チーム意識の強さも実感しました。日本の高校生は、全く気後れすることなく、勇気と自信をもって、そうした姿勢は、私たちも学ぶべきだと思いました。
- ・日本の高校生の意欲の高さは学ぶべきところだと感じました。また彼らの英語力はとても素晴らしいと感じました。
- ・日本の学生の英語力は高く、彼らとの交流を楽しんで行うことができました。同年代の高校生と、このような意義のある交流ができ、とても嬉しかったです。
- ・私は日本に来たことがあったので、日本人は英語の発音が苦手で、あまり標準的な発音ができない人が多いと思っていましたが、今回の交流を通し、日本の学生の発音はとても正確で、英語のレベルもとても高いことを実感しました。驚きましたが、たくさん交流をすることができました。
- ・もともと英語で話をするには苦手な方でしたが、日本の高校生との交流を通して、英語でのコミュ

ニケーションというのは、リラックスして、楽しく行うことが大切ということがわかりました。また、グループ内で、メンバーそれぞれが大切にしているものについて理解することができました。交流会ではコーヒーをこぼしてしまいました・・・。

- 日本の高校生との英語ディスカッションに参加できたことをとても光栄に思います。日本の高校生の皆さんは、異なる学校、異なる場所からわざわざディスカッションに参加してくださいました。彼女たちの将来の夢について知ることができ、本当に多くのことが記憶にまだ鮮明に残っています。好きなマンガについても話げできました。彼女たちは、きちんと自分の考えというのを持っていて、話してとても勉強になりました。
- ディスカッションに参加をした高校生は、話し好きな人が多く、始まったばかりの時は、初対面なので緊張していましたが、自己紹介が一巡したころには、もう打ち解けていました。私たちは、理想について、生活について、異なる国の制度や習慣について、さらには学校生活についてなど、たくさん話をしました。後半はそれぞれが力を発揮し、考えをまとめた絵を描きました。
- とても大きく美しい会場で、周りには異なる国の異なる学校の高校生が座り、最初はとても緊張しましたが、周りの方々が会話を盛り上げてくれ、少しずつ緊張がほぐれました。ディスカッションを通し、自分が足りないところに気づき、緊張して言葉が出ないこともあり、もっと英語能力を高める必要性を感じました。同時に、優秀な人は自分の考え方をきちんと持っていることを学び、そうなるには、多くの知識を身につける必要があると感じ、自分自身で機会をつくり、自分を鍛える必要性も実感しました。
- 英語での交流は普段とは異なる感覚がありました。日本では英語を口語などで学びますが、中国で学ぶ英語は時折 **Chinese English** を帯びたものもあります。ディスカッションを通し、日本の高校生の英語力の高さを実感しました。
- ディスカッションでは、最初は緊張して、なかなか話げできませんでしたが、その後は打ち解けて、楽しいディスカッションを行うことができました。グループ内で意見をまとめて、力を合わせて共にミッションを達成することを通し、交流と協力の重要性を実感し、とても有意義な経験となりました。

(3) ホームステイ

- 幸運にも、二つの家庭でのホームステイを体験することができました。両家庭共に温かく出迎えてくださり、とても行き届いた手配をいただきました。
- ホームステイは私にとって日本文化をより深く理解させてくれると共に、日本に対する見識を深めることができました。1日半過ごささせていただき、中国と日本の生活習慣面の違いも知りました。お父さん、お母さんそして私の友人の **Sea** は美しい思い出をたくさんくださいました。
- とても友好的に接して下さり、ホームステイ先での生活はとても面白く、ホストファミリーはみなさんととても親切でした。日本の文化について学ばせていただき、とても印象的な経験となりました。
- 日本の女の子とそのお母さんは、とてもよくしてくださり、2日間とても楽しく過ごすことができました。多くの日本文化を学ぶことができました。
- 私より2歳年上の **Joe** さんにより、日本家庭の日常生活を体験することができました。日本文化について多く学ぶことができました。
- ホームステイは本当に印象的な経験となりました。私にとって人生初めてのホームステイで、初めて現地の方々と近い距離で交流させていただき、文化や生活習慣が私たちと違うこともわかりました。ホストファミリーの方々は、とても親切でおおらかな方でした。
- 西田君の家では、日本人の生活について理解でき、自らも共に生活をするを通し、中国と似ているところや異なるところがわかりました。西田君とお母さんと私は、とても素敵な2日間を過ごし、

別れの時には泣いてしまいました。帰国後また彼らのことを思い出すと思います。

- ・ホームステイ先の方々にはとても親切にいただき、色々なところへ連れて行ってくださり、見識を深め、多くの気づきを得ることができました。彼女たちは、ラーメンを食べに連れて行ってくださり、別れの時にはラーメンをお土産にくださいました。2日間、とても楽しく過ごすことができ、深い友情を築くことができました。
- ・ホームステイでは、家庭の温かさを感じました。紗奈の家族は、とても親切で、お土産も色々、プレゼントし合いました。2日間という短い時間でしたが、深い友情を築くことができました。そして今回このような機会を通し、日本の生活のマナーについても深く知ることができました。
- ・1日半の体験を通し、日本の家庭生活について理解を深めることができました。生活の中にもマナーがあり、食事の前と後には、「いただきます」「ごちそうさま」と言うことや、ゴミを細かく分類しているところは、素晴らしいと感じました。家の中は、簡素でも清潔で整理整頓されていました。とても暖かく接していただき、家庭の温かさを感じました。着物体験もさせていただき、とても感動し、とても感謝しています。
- ・日本の家庭はいつも暖かく、和やかで、私は大好きです。ホストファミリーとも仲良くでき、忘れられない思い出になりました。ありがとう、ホームステイ!
- ・ホームステイ先では私をもてなしていただき、感動すると共に、素晴らしい家庭に出会え、とても光栄だと思いました。伝統文化についても教えていただき、日本家庭の日常生活を通し、日本をより深く理解できました。

4. 今回の訪問中、不便だったこと、困ったことがありましたか？もしあれば具体的に記入してください。

- ・時々、日本の日常生活で使う言葉を忘れてしまい、残念でした。
- ・私たち個々の学生が色々調べたり、探索したりする時間があればと思いました。例えば、常滑高校で、校内の紹介をいただいた後、学生が自分たちで学校内を探索できたりすれば、色々な異なるところについて発見できたり、高校の授業を自由に見学できたりすればいいなと思いました。
- ・ホームステイの時間が短すぎます。

5. 今後私たちがこのように交流プログラムを継続して行いたいと思っています。

どのプログラム内容が最も魅力的でしたか？

- (1) 博物館、美術館等の観覧：5
- (2) 日本の伝統文化技術の鑑賞体験：9
- (3) 企業訪問：3
- (4) 同年代の高校生及び大学生との交流：10
- (5) ホームステイ：10
- (6) その他
 - ・神社へのお詣り

6. 愛知県の最も魅力的なところはどんなところですか？

例：歴史、食べ物、製造業、流行文化（ファッション、マンガ・動画）等

- ・食べ物がおいしい。製造業、自動車や航空機産業が素晴らしい。
- ・味噌カツがとても美味しかった。トヨタでは未来のテクノロジーについて、理解することができました。

- ・①歴史 ②食べ物
- ・食べ物、伝統的な服装、流行の文化
- ・招き猫ミュージアム
- ・食べ物、流行の文化、産業製品、伝統文化があると思います。
- ・美食はとても独特で、中国で食べているものとは違う、味わい深さがありました。製造業はとても先進的で、賞賛に値し、めくるめく進化を遂げています。特にトヨタ城にはとても驚きました。
- ・名古屋城、リトルワールド、招き猫ミュージアム、トヨタ会館、名古屋大学、磁器
- ・愛知県的美食、科学技術、そして自然風景
- ・製造業、歴史、文化
- ・食べ物：うどんや味噌カツなど……。歴史：忍者の里など……。
- ・製造業です。この地域にトヨタの本社があり、自動車の仕組みに関わることや、トヨタの省エネなどの改善に関することを理解することができました。

7. 今回の交流プログラム全体の感想をご記入ください。

- ・日本側がこのような機会を提供して下さったことにとても感謝しています。今回、よく食べ、よく遊び、そしてよく学ばせていただきました。更には、日中両国、広東省愛知県の友好関係も強くなったと感じています。
- ・日本側に温かいおもてなしをいただき、とても楽しく日本の行程を過ごすことができました。今回の交流を通して、日中文化の違いは、私たちの世界観の理解をより深いものにしてくれました。日本側がこのような学びの機会を提供して下さったことに感謝し、異なる文化を体験することができました。今後も日中友好関係が長く続くことを願っています！
- ・今回の交流活動を通し、日本の都市の清潔で衛生的な生活を体験することができました。人々は皆さんとても礼儀正しいと感じました。最も意義があったことは、日本の学生と友好を深めることができたところだと思います。
- ・今回のプログラムは私にとってとても良い学びの機会をなりました。日本の文化を学び、日本人の方々に親切に交流していただきました。次回はまた機会があれば日本に来たいですし、愛知県にも来たいです。
- ・今回のプログラムを通して、見識を深めることができ、新しい日本の友達がたくさんできました。今回の機会を大切な思い出にしたいと考えています。今回のような活動が継続して行われ、日中友好関係が深まることを願っています。
- ・今回の交流を通し、得たものはたくさんあります。以前も何度か日本に来たことはありましたが、最も印象深い経験となりました。日本にはどのような文化があり、日本人はどのように生活しているのか、一般の旅行ではわからないことがあります。このような機会だからこそ、日本人の温かさを実感することができました。近い距離で共に生活をし、交流をすることができました。
- ・今回の交流プログラムにはとても満足し、多くのことを学ぶことができました。視野を広げることができ、知らなかった多くのことを理解できました。そしてさらに深く日本を理解できました。また機会があれば、ぜひまた日本に来たいです。
- ・あっという間の6日間でした。1日目飛行機から降りたとき、これからの数日に対する期待が目の前に浮かんでいましたが、時間が過ぎるのは速く、この6日間で日本文化と中国文化がすこしずつ融合した感覚がありました。楽しいホームステイも経験し、異なる学校の文化も体験することができ、広い視野

を持ち新しい知識を取り入れたいという気持ちが大きくなり、多角的に物事を考えられるようになりました。最後に6日間私たちを受入れ引率して下さった皆様に心から感謝申し上げます。

- 私は以前一度日本に来たことがあります。今回は全く異なる体験ができました。様々なプログラムやその中での体験は旅行では経験できません。特に、愛知県の高校生との交流やホームステイは、生活という面から日本を新たに知ることができました。そしてさらに日本人について理解を深めることができました。このような特別な経験をさせて下さった学校と愛知県に心から感謝致します。
- 5日間、少し疲れましたが、とても充実し、楽しく、幸せな経験でした。日本に来るときに、私は疑問に思っていたことがあります。それは中国と日本は同じアジア文化圏にあるのに、なぜ日本のほうが人気があるのか、中国とどこが違うのか、ということです。5日間を通して、少しずつわかってきました。中国の都市部と日本はそんなに違いがないかもしれませんが、地方に違いがあります。日本の地方は、清潔で整備されていて、地方の人たちもマナーがあり、文化があり教養があります。日本の人は賢く、食べ物を見ても理解できたのですが、物事にも行動にも、礼儀正しさや、繊細さ、真面目さがあります。日本や日本人のことが大好きになりました。
- 今回の交流にはとても感銘を受け、様々な経験ができ、とても充実していました。日本と中国の違いに関する気づきがあり、日本文化への理解ができました。PS:このような交流の機会をいただき、感謝致します。
- 今回の交流を通して得たものは数え切れないほど多く、日本をより深く理解することができました。自動車産業に対する理解もでき、今回の交流プログラムはとても勉強になり、多方面で理解を深めることができました。